

人民への献身－朝鮮労働党の 80 年

ヨーロッパ・チュチェ思想研究会書記長
フィンランド・チュチェ思想研究会会長
ユハ・キエクシ

親愛なる同志のみなさん！

今日、われわれは朝鮮労働党創立 80 周年を慶祝しています。これは朝鮮人民だけでなく、平和と自主、そして社会主義を主張するわれわれにとっても誇らしい瞬間となります。

ヨーロッパのわれわれは危うい時代に生きています。NATO と米国は数年間に渡って、ウクライナにおける戦争拡大を追求し、平和愛好国家に対する帝国主義者の圧力は引き続き大きくなっています。これらの紛争の根源は、ソ連の崩壊とともにロシア国境への NATO の無分別な拡大にあります。民主主義的に選挙されたヤヌコーヴィチ政権を転覆させたウクライナでの 2014 年クーデターはこうした事態が進展する初歩に過ぎませんでした。

2022 年からフィンランドもこのような危険な道に入りつつあります。われわれの政府は、NATO に加盟し軍事費を数十億ドルに増加させる一方で、社会の安全を破壊し、国民の生活条件を悪化させました。とくにフィンランド東部では、ロシア語を使用する少数民族との平和的關係を断絶させ、国境封鎖によって彼らの状況を悪化させ、苦痛を強いられています。

フィンランドは欧州連合加盟とそれ以後のユーロ使用地域への加入によってすでに自己の経済的自立性を失いました。

金日成主席は経済的自立性なしには政治的自主性を保つことはできないと教えました。NATO 加盟国となったフィンランドは、現在、軍事的独自性を失っています。今日、フィンランドとロシアの国境は NATO の国境の一部となり、それによってフィンランドは恒久的に安全でない国家となりました。

同時に民主主義的権利は侵食されています。労働組合は攻撃を受けており、言論の自由は奪われ、平和と自主性を擁護する人なら誰でも「海外スパイ」のレッテルを貼られます。

朝鮮をみると、われわれは完全に異なる道を歩んでいるように見えます。80年間、朝鮮労働党は人民を社会主義社会の建設へと導きました。数十年間に渡る日本帝国主義の占領とそれ以後の米帝国主義者が引き起こした破壊的な戦争によって社会主義建設は極めて困難な状況でした。しかし、朝鮮労働党の指導のもとに、人民は立ち上がって産業を建設し、生活水準を向上させ、独立を守りました。

これらの成果は、金日成主席と金正日総書記、現在はまた、金正恩総書記によってもたらされたのです。

西側の政府は、国際独占資本の要求だけに耳を傾けています。朝鮮では党が人民の声を聞いています。その差は明らかです。西側では不平等がますます拡大し、社会的福祉は破壊されていますが、朝鮮では人民は自分の生活条件を改善しており、その成果を一部ではなく、社会全般を固めるのに生かしています。

ヨーロッパで暮らすわれわれの任務は、われわれが置かれた状況のもとでチュチェ思想を研究し、帝国主義的マスメディアの独占を粉砕し、社会主義をもたらす恩恵を人々が知るようにすることです。人々の中で不満は高まっていますが、多くの人はいまだに軍国主義化と悪化する生活水準との関連を認識せずにいます。

朝鮮はわれわれのモデルです。朝鮮の経験は、労働の成果が独占資本の金庫に吸い込まれるのではなく、社会の建設に活用されるなら、強固な国防力と人民の福祉がともにもたらされることを示しています。

さる80年間、朝鮮労働党が人民の真の前衛部隊、平和と自主の守護者でありつづけてきたということを、今日、われわれは誇りを持って宣言します。